

令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興基金助成）

■調査概要

助成団体	特定非営利活動法人全世界空手道連盟新極真会
活動細目名	競技会開催（競技）
活動名	第13回全世界空手道選手権大会
助成金額	8,000,000円

■調査内容

令和5年度スポーツ団体大会開催助成を受け、「第13回全世界空手道選手権大会」を開催した特定非営利活動法人全世界空手道連盟新極真会の調査を実施しました。

10月14日、15日に開催された本大会は4年に1度、体重無差別の直接打撃制(フルコンタクト)ルールで行われる世界選手権大会であり、ウクライナ情勢の影響で参加国数は減少したものの60か国以上の国と地域から選手が参加し2日間に渡り世界一を目指した戦いが行われました。

本大会において大会運営、スタッフ・ボランティアの配置、大会PR等、様々な面で助成金が活用されていました。特に団体として本大会の周知、集客へ力を入れており、団体HP、ラジオCM、SNS等を利用した周知や、渋谷駅前や新橋駅前の大型ビジョン、JRを中心とした駅構内のサインージュや電車内のビジョンでCMを流し、最寄り駅である千駄ヶ谷駅のホームにポスターを掲示するなど多くの広告媒体を利用した情報発信を行っていました。その結果2日目のチケットは売り切れとなり、さらに当日はライブ配信を行い、会場には関東圏内の子供たち、保護者を招待して実際に現地で観戦してもらうなど大会を盛り上げる団体の工夫が随所でみられ、参加選手も最高の舞台で競技ができていることを会場で体感すると同時に、本大会が国際的な競技力の向上とこれからの子供たちの成長に大きな影響を与えていることを強く実感しました。

本大会の開催で得られた知見が、今後の大会運営並びに競技のさらなる普及・発展に寄与されることを期待します。

(令和5年10月14日往査)

(写真) 第13回全世界空手道選手権大会の様子

